

Title	赤木昭三先生 研究業績目録
Author(s)	
Citation	Gallia. 2015, 54, p. 5-9
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/61951">https://hdl.handle.net/11094/61951</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 赤木昭三先生 研究業績目録

### 編著書

1. 赤木昭三『フランス近代の反宗教思想——リベルタンと地下写本』、岩波書店、1993年4月
2. 赤木昭三・支倉崇晴・広田昌義・塩川徹也編『メナール版 パスカル全集』第1・2巻、白水社、1993-1994年
  - 第1巻「生涯の軌跡1 (1623-1655)」、1993年11月：「まえがき」、ジルベルト・ペリエ『パスカル氏の生涯』翻訳・解説、『真空論序言断章』解題・翻訳・解説
  - 第2巻「生涯の軌跡2 (1655-1662)」、1994年6月：「フェルマからパスカルへの手紙とその返書」解題・翻訳
3. 赤木昭三・川端香男里・轡田収・富山太佳夫・中川久定編『ユートピア旅行記叢書』全15巻、岩波書店、1996-2000年
  - 第1巻、1996年11月：シラノ・ド・ベルジュラック『別世界または日月両世界の諸国諸帝国』翻訳、解説1「一七世紀フランスのユートピア旅行記——知性と想像力の綾なす万華鏡」、解説2「シラノ・ド・ベルジュラックと『別世界』について」
  - 第4巻、1997年5月：フォントネル『哲学者の国またはアジャオ人物語』翻訳・解説
4. 赤木昭三・赤木富美子『サロンの思想史——デカルトから啓蒙思想へ』、名古屋大学出版会、2003年9月

### 論文

1. 「真空の問題にあらわれたパスカルの自然観」、『ガリア』4号、大阪大学フランス語フランス文学会、1958年12月
2. *Pascal et le problème du vide*, thèse de doctorat d'université, Université Paris-Sorbonne、1962年6月
3. 「パスカルの物理学の原理とその独自性」、『理想』352号、1962年9月
4. «Les idées fondamentales de la physique pascalienne et leur originalité», *Études de Langue et Littérature Françaises*, n° 4、1964年3月
5. 「Théophile de Viau の *Traicté de l'immortalité de l'âme* 論考」、『フランス十七世紀文学』創刊号、フランス十七世紀文学研究会、1966年3月
6. «Pascal et le problème du vide (1)», 『大阪大学教養部 研究集録』XV「外国語・外国文学」3、1967年3月
7. 「科学者 libertin の発生? ——Pierre Petit の場合 (1)」、『フランス十七世紀文学』2号、1967年3月
8. «Pascal et le problème du vide (2)», 『大阪大学教養部 研究集録』XVI「外国語・外国文学」4、1968年3月

9. 「科学者 *libertin* の発生? ——Pierre Petit の場合 (2)」、『フランス十七世紀文学』3号、1968年12月
10. «Pascal et le problème du vide (3)»、『大阪大学教養部 研究集録』XVII「外国語・外国文学」5、1969年3月
11. 「*De l'Origine des Fables* と *Sur l'histoire*」、『大阪大学教養部 研究集録』XIX「外国語・外国文学」7、1971年3月
12. 「*De l'Origine des Fables* の独創性」、『ガリア』10-11号、1971年8月
13. 「Cyrano カルテジヤン (1)」、『ガリア』13号、1974年3月
14. 「シラノとフォンテルと地球の自転」、『基礎フランス語』、三修社、1975年2月
15. 「Cyrano カルテジヤン (2)」、『ガリア』14号、1975年3月
16. 「パスカルと十八世紀」、徳永恂編『社会の哲学』、学文社、1975年9月
17. 「進歩の思想形成についての一考察——古代派・近代派論争をめぐって」、澤瀉久敬編『フランスの哲学』I、東京大学出版会、1975年10月
18. 「近代合理主義の成立」、『フランス文学講座』第5巻「思想」、大修館書店、1977年6月
19. 「ヴォルテールとニュートン 試論」、『思想』649号、岩波書店、1978年7月
20. «Un texte méconnu sur l'attribution de l'*Histoire comique de Francion*»、『ガリア』18号、1979年8月
21. 「ルソー、ヴォルテールと自然」、社会思想史学会年報『社会思想史研究』3号、1979年11月
22. 「十七世紀のリベルタンとデカルト思想 (上)」、『思想』671号、1980年5月
23. 「フランスにおける進歩の観念——パスカルからコンドルセまで」、徳永恂編『社会思想史—進歩とは何か』、弘文堂、1980年5月
24. 「十七世紀のリベルタンとデカルト思想 (中)」、『思想』672号、1980年6月
25. 「十七世紀のリベルタンとデカルト思想 (下)」、『思想』673号、1980年7月
26. 「「三十部」あるいは「三十五部」限定の「悪書」について」、『一橋論叢』85巻3号、一橋大学一橋学会、1981年3月
27. «Rohault, Descartes et le *Fragment de Physique* de Cyrano de Bergerac (1)»、『ガリア』21-22号、1983年3月
28. «Rohault, Descartes et le *Fragment de Physique* de Cyrano de Bergerac (2)»、『ガリア』23号、1984年3月
29. 「十七世紀末、十八世紀のリベルタン地下写本について」、『流域』15号、青山社、1985年
30. «*Suite des Œuvres diverses de M<sup>e</sup> de F\*\*\*\* de 1714 : la première édition de l'Origine des Fables et de deux autres discours de Fontenelle*»、*Études de Langue et Littérature Françaises*, n° 50、1987年3月
31. «La première édition imprimée de *Du Bonheur* de Fontenelle»、『ガリア』26号、1987年3月

32. 「ニュートン・キャンペーンの旗手ヴォルテール——ニュートン『プリンキピア』出版300年にちなんで」、*Dialogues*、4号、アリアンス・フランセーズ大阪、1987年9月
33. «Note sur un recueil de manuscrits clandestins du dix-huitième siècle : *Préjugé démasqué*», *Études de Langue et Littérature Françaises*, n° 54, 1989年3月
34. «Comment interpréter les *Expériences nouvelles touchant le vide* — De l'horreur du vide à l'équilibre des liqueurs», *Pascal, Port-Royal, Orient, Occident*, Paris, Klincksieck, 1991年2月
35. 「パスカルの『パンセ』とリベルタン」、『思想』806号、1991年8月

### 翻訳

1. デカルト『気象学』、『デカルト著作集』第1巻、白水社、1973年5月
2. フォントネル『世界の複数性についての対話』、工作舎、「プラネタリー・クラシックス」、1992年11月
3. シラノ・ド・ベルジュラック『日月両世界旅行記』、岩波文庫、2005年1月

### 書評、事典項目、その他

1. (共著) 林和夫編『前置詞・接続詞』(日本フランス語学会編『フランス語学文庫10])、白水社、1957年9月
2. 「パスカルと魔方陣」、『パスカル全集』第2巻、人文書院、1959年、「月報」
3. (共編) Henri Bergson, *L'Âme et le corps*、大学書林、1968年1月
4. (共編) Marcel Aymé, *Le Passe-muraille*、朝日出版社、1969年
5. (共著) 『フランス語文法』、朝日出版社、1970年4月
6. (事典項目) 『社会科学大事典』、鹿島出版会、1970年:「ガッサンディ」
7. (事典項目) 『フランス文学事典』、白水社、1974年9月:「オネットム」「シュヴァリエ・ド・メレ」
8. (共編) 「パスカル参考文献補遺」、『パスカル全集』第2巻、人文書院、1975年12月
9. (書評) «Analyse d'ouvrages», Cyrano de Bergerac, *Œuvres complètes*, édition publiée par Jacques Prévot, *Revue d'Histoire des Sciences*, tome XXXIII, n° 2, 1979年11月
10. (書評) リチャード・H・ボブキン『懐疑——近世哲学の源流』、『朝日ジャーナル』vol. 23, n° 22, 1981年5月
11. 「記念号刊行にあたって(原亨吉教授退官記念号)」、『ガリア』21-22号、1983年3月
12. (事典項目) 『科学史技術史事典』、弘文堂、1983年3月:「ブレーズ・パスカル」「エチエンヌ・パスカル」「モンテーニュ」
13. (事典項目) 『大百科事典』、平凡社、1984-1985年:「ガッサンディ」「機会原因論」「ゲーリンクス」「自由思想家」「ジュリユー」「シラノ・ド・ベルジュ

- ラック」「生具観念」「シャルル・ソレル」「タルマン・デ・レオー」「タンヌリ」「デカルト」「博物誌」「テオフィル・ド・ピヨー」「ビュフォン」「フュルティエール」「ピエール・ベール」「方法序説」「マルブランシュ」「メルセンヌ」「ラ・フレーシュ」
14. (事典項目) 山折哲雄編『世界宗教大事典』、平凡社、1991年2月：「機会原因論」「ゲーリンクス」「自由思想家」「ジュリユー」「デカルト」「ピエール・ベール」「マルブランシュ」
  15. 『『ガリア』の思い出』、『ガリア』30号、1991年3月
  16. 「フォントネルの仕事ぶり」、『流域』、1993年5月
  17. 「知識人大旅行家 フランソワ・ベルニエ」、『17・18世紀大旅行記叢書』第5巻：ベルニエ『ムガル帝国誌』、岩波書店、1993年8月
  18. 「パスカル研究の最近の動向(1) ジャン・メナール『パスカルとロアネーズ兄妹』」、『メナール版パスカル全集』第1巻、白水社、1993年、「月報」。
  19. (書評) Hisayasu Nakagawa (éd.), *La Révolution française et la littérature*, Colloque international du bicentenaire, 1989 (Presses Universitaires de Kyoto, 1992)、『日本18世紀学会年報』8号、1993年5月
  20. (事典項目) 『集英社世界文学大事典』、全6巻、集英社、1996-1998年：「アルカディア」「ガッサンディ」「アレクサンドル・コイレ」「サン・テヴルモン」「リシャル・シモン」「自由思想」「書簡詩」「対話文学」「トゥー」「ガブリエル・ノーデ」「ビュフォンと『博物誌』」「風刺詩」「フォントネルと『世界の多様性についての対話』」「文芸共和国」「フランソワ・ベルニエ」「ベレスク」「マザリナード」「メズレー」「メルセンヌ」「モーペルチュイ」「妖精物語」「ラ・モット・ル・ヴァイエ」「理神論」
  21. (書評) 「合理と非合理のあいだ——谷川多佳子著『デカルト研究—理性の境界と周縁』」、『思想』869号、1996年11月
  22. (事典項目) 『岩波哲学・思想事典』、岩波書店、1998年3月：「ヴォーヴナルグ」「『エセー』」「ガッサンディ」「自由思想家」「新旧論争」「モラリスト」「モリエール」「モンテーニュ」
  23. 「変わるバリ、変わらないバリ」、『月刊健康』2001年2月号、共同通信社
  24. 「旅する哲学者フランソワ・ベルニエ」、ベルニエ『ムガル帝国史』(2)、倉田信子訳、岩波文庫、2001年12月
  25. (事典項目) 『集英社世界文学事典』、集英社、2002年2月：「アルカディア」「ガッサンディ」「アレクサンドル・コイレ」「サン・テヴルモン」「自由思想」「書簡詩」「対話文学」「ビュフォンと『博物誌』」「風刺詩」「フォントネルと『世界の多様性についての対話』」「文芸共和国」「ベレスク」「マザリナード」「メズレー」「メルセンヌ」「妖精物語」「ラ・モット・ル・ヴァイエ」「理神論」
  26. 「三百年前の健康法」、『月刊健康』2002年5月号、共同通信社
  27. (事典項目) 『岩波キリスト教辞典』、岩波書店、2002年6月：「啓蒙主義」「自由検討」「自由思想」「ディドロ」「モラリスト文学」「モリエール」「モンテス

キュー」「モンテーニュ」「ルソー」

28. 「原先生のいくつかのお仕事について」、『ガリア』52号（原亨吉名誉教授追悼号）、2013年3月